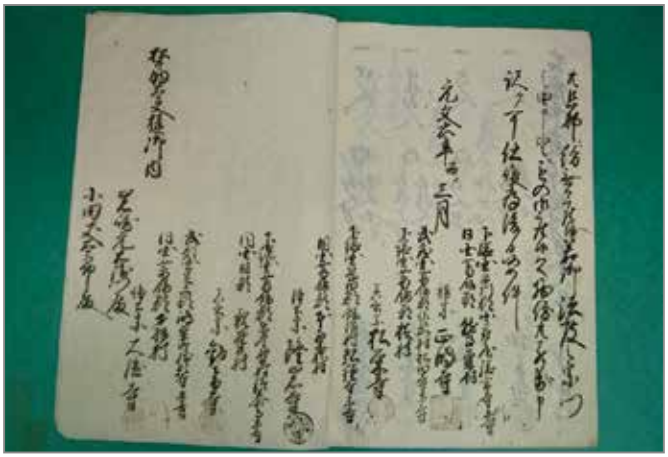
杉戸町今昔往来伝
～古きをたずねて杉戸を再発見～
第62回

元号改正周知のタイムラグ②
江戸時代の杉戸町域

実は、江戸時代は庶民の識字率が高かったことで知られています。もちろん、現代と比較すれば、識字率が低いということになってしまうのですが、今から百五十年以上も前の時代に、多くの庶民が、字を読み書きできた国というのは世界史的にみても稀です。この識字率の高さから、元号も多くの人々に使われたのが江戸時代なのです。

周知のごとく江戸時代は、政治の実権は幕府が握っていましたので、改元については、江戸幕府と京都の朝廷との間できめ細かくやり取りされ、決定されたようです。新たな元号は、幕府や藩を通じて全国に周知され、農村でも使われていたようです。当然、現代と違って通信手段が限られておりましたので、元号改正周知のタイムラグがありました。

杉戸町域に存在した江戸時代の村の記録を事例にみてみましょう。写真は、深輪村（現杉戸町大字深輪）に残されていた元文六年（一七四一）三月の史料です。この年の二月二十七日に「寛保」に元号が改正されていました。つまり、正確には寛保元年三月なのです。仮にこの史料が三月初めに記録されたものだとすると、二月末に改元された情報がすぐには深輪村には到達していないことがわかります。改元の情報が全国村々の民衆にまで伝わるには、一、二か月程度を要したともいわれます。そうしたタイムラグが村方の記録でも見て取れるのです。



▲元文六年（1741）三月と書かれた文書。
実際にはこの年の二月二十七日に寛保と改元された。

（社会教育課　町史・文化財担当編）

杉戸シニアの元気印★シニアサロン⑧

シニアサロン事務局
高齢介護課 高齢者福祉担当　内線317・318

すぎとピアサロン（南地区）

活動日
毎週木曜日（第5週目は休み）
13時30分～ 15時

活動場所
すぎとピア　（所在：堤根4742-1）

お風呂や「元気村」前後に、楽しみながら介護予防に役立てましょう

サロンの特徴（活動内容）
第1・3週はげんきSUGI体操、第2週は音楽療法・ミニ映画会・MG体操・暮らしの保健室を月ごとに、第4週は出前いきいき体操をします。

▶すぎとピアサロンについての問合せ
すぎとピア　☎（32）7402

編集・発行　杉戸町秘書広報課
☎0480(33)1111 FAX 0480(33)4550
〒345-8502 埼玉県北葛飾郡杉戸町清地2丁目9番29号
ホームページアドレス http://www.town.sugito.lg.jp/

VEGETABLE OIL INK
UD FONT by MORISAWA
ユニバーサルデザイン（UDフォント）を使用し、読みやすい書体を採用しました。

杉戸町ホームページ　メール配信すぎめー　広報スマホ版マチイロ